

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 11 月 25 日 (2021.11.25)

【公開番号】特開 2020-163061 (P2020-163061A)

【公開日】令和 2 年 10 月 8 日 (2020.10.8)

【年通号数】公開・登録公報 2020-041

【出願番号】特願 2019-69298 (P2019-69298)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 6 D

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 10 月 13 日 (2021.10.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の判別条件が成立したことに基づいて判別を実行する判別手段と、  
その判別手段の判別結果が予め定められた特定の判別結果となったことに基づいて、遊  
技者に有利な特典遊技を実行する特典遊技実行手段と、  
識別情報を表示可能な表示手段と、  
前記判別手段の判別が実行されたことに基づいて、前記判別手段の判別結果を示すため  
の前記識別情報が前記表示手段において動的表示される演出態様を少なくとも含む所定の  
演出を実行可能な演出実行手段と、を備えた遊技機において、  
第 1 の設定条件が成立したことに基づいて所定の遊技状態を設定し、前記第 1 の設定条  
件とは異なる第 2 の設定条件が成立したことに基づいて前記所定の遊技状態を設定する所  
定遊技状態設定手段を備え、  
前記遊技機は、  
前記第 1 の設定条件が成立したことに基づいて設定された前記所定の遊技状態において  
、前記第 2 の設定条件が成立したことに基づいて設定された前記所定の遊技状態で実行さ  
れる前記所定の演出には含まれない特定の演出態様が含まれる特定演出を実行可能であり  
、  
前記特定演出の実行中に、前記判別手段による判別の有利度合いを動的表示されている  
前記識別情報を用いて示唆可能であり、  
前記第 1 の設定条件が成立したことに基づいて設定された前記所定の遊技状態において  
前記特定演出が終了した後は、次に前記第 1 の設定条件が成立するまで前記特定演出が実  
行されない構成であり、  
前記遊技機は、  
前記判別手段によって判別が実行されたことに基づいて、当該判別の判別結果を示すま  
での期間を決定する期間決定手段と、  
その期間決定手段によって前記期間を決定するための情報を規定した規定情報として、  
第 1 規定情報と第 2 規定情報とを少なくとも含む複数の前記規定情報が記憶されている記  
憶手段と、を有し、  
前記演出実行手段は、前記期間決定手段によって決定された前記期間において前記所定

の演出を実行可能な構成であり、

前記期間決定手段は、

前記特定演出の実行期間において前記判別手段によって判別が実行された場合に、前記第1規定情報を用いて前記期間を決定可能であり、

前記第2の設定条件が成立したことに基づいて設定された前記所定の遊技状態で前記判別手段によって判別が実行された場合に、前記第2規定情報を用いて前記期間を決定可能な構成であり、

前記遊技機は、

前記特定演出の実行期間において前記特定の判別結果とは異なる所定の判別結果となった場合に、前記識別情報を用いた所定の報知を実行可能であり、

前記特定演出の実行期間において前記特定の判別結果となった場合に、前記所定の報知が実行されない構成であることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記第2の設定条件は、前記特典遊技が終了した場合に成立する条件であり、

前記第1の設定条件は、前記遊技機の設定が初期化された場合に成立する条件であることを特徴とする請求項1記載の遊技機。

【請求項3】

前記遊技機は、前記所定の遊技状態が設定されてから、予め定められた特定回数の判別に渡って連続して前記特定の判別結果とは異なる外れ判別結果となったことに基づいて、前記特定演出を実行可能な構成であることを特徴とする請求項1又は2記載の遊技機。

【請求項4】

前記判別手段による判別の有利度合いに対応する特定要素を、第1の有利度合いに対応する第1状態と、前記第1の有利度合いよりも高い第2の有利度合いに対応する第2状態と、を少なくとも含む複数のうち1の状態に設定することが可能な特定要素設定手段と、

前記特定演出の種別として、前記第2状態よりも前記第1状態の方が実行される割合が高くなる第1特定演出と、前記第1状態よりも前記第2状態の方が実行される割合が高くなる第2特定演出と、を少なくとも含む複数のうち1の種別を決定する種別決定手段と、を備えることを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載の遊技機。

【請求項5】

前記種別決定手段は、前記特定演出の種別として、前記第1特定演出と、前記第2特定演出と、前記第2状態では実行され得るが前記第1状態では実行され得ない第3特定演出と、を少なくとも含む複数のうち1の種別を決定可能な構成であることを特徴とする請求項4記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

パチンコ機等の遊技機には、始動入賞口への遊技球の入賞に基づいて行われる抽選の結果が当たりだった場合に、当たり状態へと移行するものがある。かかる遊技機の中には、例えば、有利度合いの異なる複数の当たり種別を設けることにより、興趣向上を図っているものも存在する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特許第2514417号公報

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、更なる興味向上が求められていた。

## 【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記例示した問題点等を解決するためになされたものであり、遊技者の遊技に対する興味を向上させることができる遊技機を提供することを目的とする。

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、所定の判別条件が成立したことに基づいて判別を実行する判別手段と、その判別手段の判別結果が予め定められた特定の判別結果となったことに基づいて、遊技者に有利な特典遊技を実行する特典遊技実行手段と、識別情報を表示可能な表示手段と、前記判別手段の判別が実行されたことに基づいて、前記判別手段の判別結果を示すための前記識別情報が前記表示手段において動的表示される演出態様を少なくとも含む所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、第1の設定条件が成立したことに基づいて所定の遊技状態を設定し、前記第1の設定条件とは異なる第2の設定条件が成立したことに基づいて前記所定の遊技状態を設定する所定遊技状態設定手段を備え、前記遊技機は、前記第1の設定条件が成立したことに基づいて設定された前記所定の遊技状態において、前記第2の設定条件が成立したことに基づいて設定された前記所定の遊技状態で実行される前記所定の演出には含まれない特定の演出態様が含まれる特定演出を実行可能であり、前記特定演出の実行中に、前記判別手段による判別の有利度合いを動的表示されている前記識別情報を用いて示唆可能であり、前記第1の設定条件が成立したことに基づいて設定された前記所定の遊技状態において前記特定演出が終了した後は、次に前記第1の設定条件が成立するまで前記特定演出が実行されない構成であり、前記遊技機は、前記判別手段によって判別が実行されたことに基づいて、当該判別の判別結果を示すまでの期間を決定する期間決定手段と、その期間決定手段によって前記期間を決定するための情報を規定した規定情報として、第1規定情報と第2規定情報とを少なくとも含む複数の前記規定情報が記憶されている記憶手段と、を有し、前記演出実行手段は、前記期間決定手段によって決定された前記期間において前記所定の演出を実行可能な構成であり、前記期間決定手段は、前記特定演出の実行期間において前記判別手段によって判別が実行された場合に、前記第1規定情報を用いて前記期間を決定可能であり、前記第2の設定条件が成立したことに基づいて設定された前記所定の遊技状態で前記判別手段によって判別が実行された場合に、前記第2規定情報を用いて前記期間を決定可能な構成であり、前記遊技機は、前記特定演出の実行期間において前記特定の判別結果とは異なる所定の判別結果となった場合に、前記識別情報を用いた所定の報知を実行可能であり、前記特定演出の実行期間において前記特定の判別結果となった場合に、前記所定の報知が実行されない構成である。

請求項2記載の遊技機は、請求項1記載の遊技機において、前記第2の設定条件は、前

記特典遊技が終了した場合に成立する条件であり、前記第 1 の設定条件は、前記遊技機の設定が初期化された場合に成立する条件である。

請求項 3 記載の遊技機は、請求項 1 又は 2 記載の遊技機において、前記遊技機は、前記所定の遊技状態が設定されてから、予め定められた特定回数の判別へ渡って連続して前記特定の判別結果とは異なる外れ判別結果となったことに基づいて、前記特定演出を実行可能な構成である。

請求項 4 記載の遊技機は、請求項 1 から 3 のいずれかに記載の遊技機において、前記判別手段による判別の有利度合いに対応する特定要素を、第 1 の有利度合いに対応する第 1 状態と、前記第 1 の有利度合いよりも高い第 2 の有利度合いに対応する第 2 状態と、を少なくとも含む複数のうち 1 の状態に設定することが可能な特定要素設定手段と、前記特定演出の種別として、前記第 2 状態よりも前記第 1 状態の方が実行される割合が高くなる第 1 特定演出と、前記第 1 状態よりも前記第 2 状態の方が実行される割合が高くなる第 2 特定演出と、を少なくとも含む複数のうち 1 の種別を決定する種別決定手段と、を備える。

請求項 5 記載の遊技機は、請求項 4 記載の遊技機において、前記種別決定手段は、前記特定演出の種別として、前記第 1 特定演出と、前記第 2 特定演出と、前記第 2 状態では実行され得るが前記第 1 状態では実行され得ない第 3 特定演出と、を少なくとも含む複数のうち 1 の種別を決定可能な構成である。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

請求項 1 記載の遊技機によれば、所定の判別条件が成立したことに基づいて判別を実行する判別手段と、その判別手段の判別結果が予め定められた特定の判別結果となったことに基づいて、遊技者に有利な特典遊技を実行する特典遊技実行手段と、識別情報を表示可能な表示手段と、前記判別手段の判別が実行されたことに基づいて、前記判別手段の判別結果を示すための前記識別情報が前記表示手段において動的表示される演出態様を少なくとも含む所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、第 1 の設定条件が成立したことに基づいて所定の遊技状態を設定し、前記第 1 の設定条件とは異なる第 2 の設定条件が成立したことに基づいて前記所定の遊技状態を設定する所定遊技状態設定手段を備え、前記遊技機は、前記第 1 の設定条件が成立したことに基づいて設定された前記所定の遊技状態において、前記第 2 の設定条件が成立したことに基づいて設定された前記所定の遊技状態で実行される前記所定の演出には含まれない特定の演出態様が含まれる特定演出を実行可能であり、前記特定演出の実行中に、前記判別手段による判別の有利度合いを動的表示されている前記識別情報を用いて示唆可能であり、前記第 1 の設定条件が成立したことに基づいて設定された前記所定の遊技状態において前記特定演出が終了した後は、次に前記第 1 の設定条件が成立するまで前記特定演出が実行されない構成であり、前記遊技機は、前記判別手段によって判別が実行されたことに基づいて、当該判別の判別結果を示すまでの期間を決定する期間決定手段と、その期間決定手段によって前記期間を決定するための情報を規定した規定情報として、第 1 規定情報と第 2 規定情報とを少なくとも含む複数の前記規定情報が記憶されている記憶手段と、を有し、前記演出実行手段は、前記期間決定手段によって決定された前記期間において前記所定の演出を実行可能な構成であり、前記期間決定手段は、前記特定演出の実行期間において前記判別手段によって判別が実行された場合に、前記第 1 規定情報を用いて前記期間を決定可能であり、前記第 2 の設定条件が成立したことに基づいて設定された前記所定の遊技状態で前記判別手段によって判別が実行された場合に、前記第 2 規定情報を用いて前記期間を決定可能な構成であり、前記遊技機は、前記特定演出の実行期間において前記特定の判別結果とは異なる所定の判別結果となった場合に、前記識別情報を用いた所定の報知を実行可能であり、前記特定演出の実行期間において前記特定の判別結果となった場合に、前記所定の報知が実行されない構成で

ある。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

これにより、遊技者の遊技に対する興味を向上させることができるという効果がある。

請求項 2 記載の遊技機によれば、請求項 1 記載の遊技機の奏する効果に加え、前記第 2 の設定条件は、前記特典遊技が終了した場合に成立する条件であり、前記第 1 の設定条件は、前記遊技機の設定が初期化された場合に成立する条件である。

これにより、初期化された際に設定される所定の遊技状態において特定演出の実行し易さを可変させることができるので、所定の遊技状態における遊技が単調となってしまうことを抑制できるという効果がある。

請求項 3 記載の遊技機によれば、請求項 1 又は 2 記載の遊技機の奏する効果に加え、前記遊技機は、前記所定の遊技状態が設定されてから、予め定められた特定回数の判別を経て連続して前記特定の判別結果とは異なる外れ判別結果となったことに基づいて、前記特定演出を実行可能な構成である。

これにより、外れ判別結果が連続することを期待して遊技を行わせるという斬新な遊技性を実現できるという効果がある。

請求項 4 記載の遊技機によれば、請求項 1 から 3 のいずれかに記載の遊技機の奏する効果に加え、前記判別手段による判別の有利度合いに対応する特定要素を、第 1 の有利度合いに対応する第 1 状態と、前記第 1 の有利度合いよりも高い第 2 の有利度合いに対応する第 2 状態と、を少なくとも含む複数のうち 1 の状態に設定することが可能な特定要素設定手段と、前記特定演出の種別として、前記第 2 状態よりも前記第 1 状態の方が実行される割合が高くなる第 1 特定演出と、前記第 1 状態よりも前記第 2 状態の方が実行される割合が高くなる第 2 特定演出と、を少なくとも含む複数のうち 1 の種別を決定する種別決定手段と、を備える。

これにより、特定演出の種別によって特定要素の状態を示唆することができるので、特定要素の状態を推測したいと考える遊技者に対して、所定の遊技状態において特定演出が実行されることを期待して遊技を行わせることができる。よって、遊技者の遊技に対する興味を向上させることができるという効果がある。

請求項 5 記載の遊技機によれば、請求項 4 記載の遊技機の奏する効果に加え、前記種別決定手段は、前記特定演出の種別として、前記第 1 特定演出と、前記第 2 特定演出と、前記第 2 状態では実行され得るが前記第 1 状態では実行され得ない第 3 特定演出と、を少なくとも含む複数のうち 1 の種別を決定可能な構成である。

これにより、特定演出の種別によって特定要素の状態を示唆することができるので、特定要素の状態を推測したいと考える遊技者に対して、所定の遊技状態において特定演出が実行されることを期待して遊技を行わせることができる。よって、遊技者の遊技に対する興味を向上させることができるという効果がある。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】13479

【補正方法】変更

【補正の内容】

【13479】

なお、上記各実施形態に記載の「球」が特許請求の範囲の「遊技媒体」又は「遊技球」に対応し、上記各実施形態に記載の「役物比率」が特許請求の範囲の「払出手段により払い出された前記遊技媒体の数に対する、前記第 1 入賞口への入賞に基づいて払い出された前記遊技媒体の数の比率」に対応し、上記各実施形態に記載の「連続役物比率」が特許請

求の範囲の「払出手段により払い出された前記遊技媒体の数に対する、前記第 2 入賞口への入賞に基づいて払い出された前記遊技媒体の数の比率」に対応する。

<その他>

従来より、パチンコ機などの遊技機は、遊技盤面上に設けられた始動口に遊技球が入球すると、遊技の当否が抽選され、その抽選結果が当たりであった場合には、遊技者に有利となる特典遊技が実行されるものがある（例えば、特許文献 1：特開 2 0 1 2 - 2 1 7 7 6 6 号公報）。

しかしながら、更なる遊技の興趣向上が求められていた。

本技術的思想は、上記例示した問題点等を解決するためになされたものであり、遊技の興趣を向上できる遊技機を提供することを目的とする。

<手段>

この目的を達成するために技術的思想 1 の遊技機は、遊技球が入球可能な入球手段と、その入球手段に遊技球が入球したことに基づいて判別を実行可能な判別手段と、その判別手段による判別結果を示すための識別情報を表示手段に動的表示させることが可能な動的表示手段と、その動的表示手段により識別情報が動的表示される動的表示期間を決定することが可能な動的表示期間決定手段と、前記表示手段に特定の前記判別結果を示すための識別情報が表示された場合に、特典遊技を実行可能な特典遊技実行手段と、を有し、前記特典遊技が実行される場合に遊技球が入球可能な開放状態に可変される可変入球手段と、遊技球が流下可能な第 1 流路と、その第 1 流路を流下した遊技球が困難となる第 2 流路と、を有し、前記遊技機は、前記第 1 流路を流下させることで前記第 2 流路を流下したよりも前記可変入球手段へ入球する割合が低く構成され、前記第 1 流路を流下させることで前記第 2 流路を流下したよりも前記可変入球手段へ短期間で到達することが可能に構成されているものである。

<効果>

技術的思想 1 記載の遊技機によれば、遊技球が入球可能な入球手段と、その入球手段に遊技球が入球したことに基づいて判別を実行可能な判別手段と、その判別手段による判別結果を示すための識別情報を表示手段に動的表示させることが可能な動的表示手段と、その動的表示手段により識別情報が動的表示される動的表示期間を決定することが可能な動的表示期間決定手段と、前記表示手段に特定の前記判別結果を示すための識別情報が表示された場合に、特典遊技を実行可能な特典遊技実行手段と、を有し、前記特典遊技が実行される場合に遊技球が入球可能な開放状態に可変される可変入球手段と、遊技球が流下可能な第 1 流路と、その第 1 流路を流下した遊技球が困難となる第 2 流路と、を有し、前記遊技機は、前記第 1 流路を流下させることで前記第 2 流路を流下したよりも前記可変入球手段へ入球する割合が低く構成され、前記第 1 流路を流下させることで前記第 2 流路を流下したよりも前記可変入球手段へ短期間で到達することが可能に構成されているものである。

よって、遊技の興趣を向上することができるという効果がある。

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1 3 4 8 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1 3 4 8 0】

1 0	パチンコ機（遊技機）
8 1	第 3 図柄表示装置（第 1 1 実施形態における表示手段）
2 0 2 m e	変動パターン選択 1 1 テーブル（第 1 1 実施形態における記憶手段）
S 3 9 2	第 1 1 実施形態における期間決定手段
S 4 5 8	第 1 1 実施形態における判別手段
S 9 8 2	第 1 1 実施形態における期間決定手段

<u>S 1 0 5 8</u>	<u>第 1 1 実施形態における判別手段</u>
<u>S 1 5 9 3</u>	<u>第 1 1 実施形態における特典遊技実行手段</u>
<u>S 1 9 9 2</u>	<u>第 1 1 実施形態における所定遊技状態設定手段の一部</u>
<u>S 3 1 0 4</u>	<u>第 1 1 実施形態における所定遊技状態設定手段の一部</u>
<u>S 3 1 0 7</u>	<u>第 1 1 実施形態における特定要素設定手段</u>
<u>S 8 2 0 8</u>	<u>第 1 1 実施形態における動的表示手段、演出実行手段</u>
<u>S 8 2 8 4</u>	<u>第 1 1 実施形態における種別決定手段</u>
<u>S 1 0 8 5 3</u>	<u>第 1 1 実施形態における特典遊技実行手段</u>